

総合内科・総合診療科

集合場所： 総合診療・総合内科学講座 医局(研究棟 8階・内線 5106)

集合時間： 8時 10分

(第1週月曜日が休日の場合、翌火曜日の朝8時10分に、実習初日の人も含む全員集合のこと)

クラークシップ・ディレクター： 宮崎 英士 (FMC 32044)

アテンディング： 堀之内 登 (FMC 32515)

吉岩 あおい (FMC 32525)

塩田 星児 (FMC 32215)

山本 恭子 (FMC 32515)

吉村 亮彦 (FMC 32621)

土井 恵里 (FMC 32529)

宇都宮 理恵 (FMC 32049)

平林 礼奈 (FMC 32898)

筒井 勇貴 (FMC 32530)

伊南 利菜 (FMC 32524)

遅刻・欠席の連絡先： 097-586-5106

総合内科・総合診療科

【一般目標】

様々な症候を呈する初診患者に対応する能力を身につけるために、基本的な医療面接手法、診察手技、臨床推論の立て方、およびコミュニケーションとプレゼンテーション技法を修得する。

【行動目標】

- ① 外来初診患者に対して適切に医療面接を実施できる
- ② 外来初診患者に対して適切に身体診察を実施できる
- ③ 臨床上の問題点を抽出した Problem List を作成できる
- ④ 症候から病態を考えることができる
- ⑤ 臨床推論を組み入れたプレゼンテーションを行うことができる
- ⑥ 患者の心理・社会的背景に配慮できる
- ⑦ 認知症患者と家族に共感した応対と診療サポートができる
- ⑧ 在宅医療において医師に求められる能力を説明できる
- ⑨ 救急現場での総合診療能力の必要性を説明できる
- ⑩ 実習する病院・診療所における総合診療医の役割を述べることができる

総合内科・総合診療科 クリニカル・クラークシップスケジュール

※1班をAグループとBグループに分け、第1週と第2週で入れ替わりで学外実習

※レクチャーの内容は変更の場合があります

A班						B班							
第1週	月	火	水	木	金	第1週	月	火	水	木	金		
8:10 - 8:40	オリエンテーション					8:10 - 8:40	オリエンテーション						
8:40 - 9:00	朝カンファ 外来担当患者のプレゼンテーション					8:40 - 9:00	朝カンファ	学外実習				朝カンファ	
9:00 - 12:00	新患外来実習	新患外来実習	新患外来実習	新患外来実習	グループ学習 (事例検討)	9:00 - 12:00	新患外来実習					グループ学習 (事例検討)	
12:00 - 13:00	昼休み					12:00 - 13:00	昼休み					昼休み	
13:00 - 14:00	レクチャー (認知症)		(もの忘れ外来 再来陪席)	レクチャー (感染症)	レクチャー (臨床推論)	13:00 - 14:00	レクチャー (認知症)					レクチャー (臨床推論)	
14:00 - 15:00		レクチャー (意識障害)			事例解説	14:00 - 15:00						事例解説	
15:00 - 16:00	レクチャー (プレゼンスキル)		レクチャー (外来診療)	レクチャー (EBM)		15:00 - 16:00	レクチャー (プレゼンスキル)					レクチャー (臨床推論)	
16:00 - 17:00		レクチャー (BPSモデル)				16:00 - 17:00							
第2週	月	火	水	木	金	第2週	月	火	水	木	金		
8:40 - 9:00	朝カンファ	学外実習				朝カンファ	8:40 - 9:00	朝カンファ 外来担当患者のプレゼンテーション					
9:00 - 12:00	新患外来実習					発表準備	9:00 - 12:00	新患外来実習	新患外来実習	新患外来実習	新患外来実習	発表準備	
12:00 - 13:00	昼休み					昼休み	12:00 - 13:00	昼休み					
13:00 - 14:00								発表	13:00 - 14:00		(もの忘れ外来 再来陪席)	レクチャー (感染症)	発表
14:00 - 15:00	スキルスラボ								14:00 - 15:00	スキルスラボ	レクチャー (意識障害)		
15:00 - 16:00	レクチャー (臨床推論)								15:00 - 16:00	レクチャー (臨床推論)	レクチャー (外来診療)	レクチャー (EBM)	
16:00 - 17:00					16:00 - 17:00		レクチャー (BPSモデル)						

学生による総合内科・総合診療科実習の評価 2023

講座名： 総合診療・総合内科学講座

実習期間： 月 日～ 月 日

学籍番号： _____ 氏名： _____

<選択肢>

5 : 強くそう思う (とても良い) 4 : そう思う (良い) 3 : どちらとも言えない (普通)
 2 : そうは思わない (余り良くない) 1 : 全くそう思わない (悪い)

A : 実習に対する評価

- ① 医療面接を実施する機会があった -----> (5 4 3 2 1)
- ② 身体診察を実施する機会があった -----> (5 4 3 2 1)
- ③ 病態、臨床推論を学ぶ機会があった -----> (5 4 3 2 1)
- ④ 議論やプレゼンテーションする機会があった -----> (5 4 3 2 1)
- ⑤ 朝カンファレンスへの参加は有意義であった -----> (5 4 3 2 1)
- ⑥ 毎日の振り返り、金曜の振り返りは有意義であった -----> (5 4 3 2 1)
- ⑦ 指導医は丁寧に、親身になって指導してくれた -----> (5 4 3 2 1)
- ⑧ 総合的に実習は満足するものであった -----> (5 4 3 2 1)

B : 実習態度に対する自己評価

- ① 信頼される髪型・服装・姿勢・態度をとることができた -----> (5 4 3 2 1)
- ② 無断欠席・早退せず、決められた時間を厳守できた -----> (5 4 3 2 1)
- ③ 患者を尊重し、良好な対人関係を築くことができた -----> (5 4 3 2 1)
- ④ 学習意欲を持ち、自ら調べ、指導医と議論することができた --> (5 4 3 2 1)
- ⑤ 診療チームの一員として、行動(診療参加)できた -----> (5 4 3 2 1)
- ⑥ 各場面で適切なプレゼンテーションを行うことができた -----> (5 4 3 2 1)

C : 行動目標に対する評価

- ① 外来初診患者に対して適切に医療面接を実施できた -----> (5 4 3 2 1)
- ② 外来初診患者に対して適切に身体診察を実施できた -----> (5 4 3 2 1)
- ③ 臨床上の問題点を抽出した Problem List を作成できた -----> (5 4 3 2 1)
- ④ 症候から病態を考えることができた -----> (5 4 3 2 1)
- ⑤ 臨床推論を組み入れたプレゼンテーションを行うことができた (5 4 3 2 1)
- ⑥ 患者の心理・社会的背景に配慮できた -----> (5 4 3 2 1)
- ⑦ 認知症患者と家族に共感した応対と診療サポートができた --> (5 4 3 2 1)
- ⑧ 在宅医療において医師に求められる能力を説明できる -----> (5 4 3 2 1)
- ⑨ 救急現場での総合診療能力の必要性を説明できる -----> (5 4 3 2 1)
- ⑩ 実習する病院・診療所における総合診療医の役割を述べる事ができる (5 4 3 2 1)

指導医による学生の評価

講座名： 総合診療・総合内科学講座

実習期間： 月 日～ 月 日

学籍番号： _____ 氏名： _____

【 評価表 】

1. 時間管理

- ・無断欠席はないか（これがあれば1か2）
- ・決められた時間に余裕を持って正確に対応しているか

2. 服装・態度、実習に対する姿勢

- ・医師に相応しい髪型・服装で実習しているか
- ・全ての人に対して真摯な態度で接しているか
- ・自分のエラー・落ち度を真摯に認めるか

3. 医師・患者関係

- ・患者さんの訴えに傾聴し、態度と言葉で共感しているか
- ・患者さんに敬意を表し、人格を尊重する姿勢を示しているか
- ・患者さんとの適切な対人関係を構築できているか

4. 実習に際しての学習態度

- ・学習意欲を持ち、課題に対して自ら学習する姿勢がみられたか
- ・事前に疾患・診療に関する基本事項の復習を行っているか
- ・積極的に指導医に質問し議論することができたか

5. 医療チームの一員としての診療態度

- ・医療チームの一員として行動（診療参加）できたか
- ・全ての医療従事者に敬意を示し、適切な関係を保っているか
- ・他人の意見を尊重できているか

6. 問題解決・プレゼンテーションスキル

- ・問題点・対応等を指導医に報告して検討しているか
- ・プレゼンテーションは適切か（日々の報告、カンファレンス等）
- ・臨床課題の解決に、文献・エビデンスを適応できているか

7. 全体評価（全体を通しての評価）

（指導医あるいは指導責任者が総合評価し、スケールに○印を付けてください）

合否	再実習・不可												合格									
点数	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	

再実習・不可の場合の理由

(_____)

指導責任者 印

8. 次の実習先指導医へのメッセージ

（特に、学習者に対し、各科連携して指導して改善していくべき事項がありましたら記載してください）

(_____)